

◇主な内容◇

- こんなことが決まりました
- 市政のここが聞きたい
- 補正予算
- 予算審査特別委員会
- 委員会活動
- 傍聴席
- 編集後記

議会です、 これにちは

こんなことが決まりました。

平成18年第1回臨時議会及び平成18年第1回定例会(2月22日～3月1日、3月20日～28日)で可決された議案等55件、意見等2件、報告2件、陳情1件でその主なものは次のとおりです。

議案

- 平成17年度留萌市一般会計補正予算(第6号、第7号)
- 平成17年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第3号、第4号)及び下水道事業特別会計補正予算(第1号、第2号)及び国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)及び港湾事業特別会計補正予算(第1号)及び水道事業会計補正予算(第2号)及び病院事業会計補正予算(第2号)
- 留萌市(コミュニティセンター・文化センター・公民館・体育施設・勤労福祉センター・住民センター)の指定管理者の指定について
- 平成18年度留萌市一般会計予算
- 平成18年度留萌市特別会計予算(国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・港湾事業・下水道事業・水道事業・病院事業)
- 平成18年度留萌市一般会計補正予算(第1号)
- 留萌市一般職員の給与の特例に関する条例制定について
- 留萌市増毛町小平町市町村審査会の設置について
- 留萌市報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市情報公開条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市文化財保護条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市議会政務調査費交付条例の一部を改正する条例制定について

- 留萌市税条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市国民保護対策本部及び留萌市緊急対処事態対策本部の条例制定について
- 留萌市職員定数条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市特別職員給与条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市ホームヘルパー派遣手数料条例を廃止する条例制定について
- 留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市漁船漁具保全施設設置条例を廃止する条例制定について
- 留萌市水産加工総合管理センター設置条例を廃止する条例制定について
- 留萌市立病院診療料金等徴収条例の一部を改正する条例制定について

報告

- 専決処分の報告について(損害賠償について)

意見書

- 米国産輸入牛肉への特定危険部位混入に対する意見書
- 高齢者への負担増に反対し、安心の医療制度改革を求める意見書

陳情

- 平成18年度老人クラブ補助金に係わる陳情(民生常任委員会に付託・閉会中継続審査)

市政のここが聞きたい 一般質問

市民連合

野崎 良夫議員

- 一、市長の政治姿勢について
- 二、市立病院の経営について

一、高橋市長は、市長選出馬表明において六項目の政策を掲げたが、自治体経営をどうするのかなど今一つ説得力に欠けるようだが、どの様な思いで作成されたのか。また、市政推進の基本的スタンスは政党政治にこだわらないとのことだが、その姿勢を何故所信表明で述べなかつたのか。

二、市立病院の経営収支について、市民や職員に正確な情報発信をすべきではないか。

また、診療報酬が過去最大の三・一六%の下げ幅となることから、抜本的な健全化計画が必要となってくるので、院内においてしっかり検証し見直し作業を早急にすべきである。



病院の経営収支の情報発信を

◆野崎良夫議員への答弁

一、道議会時代より長沼前市長と二人三脚で取り組んできた。施策を継承し、私が思い描いていたことなどを含め、市民に示した。市民の目線で物事を考え、より多くの人が行政に参画できる対話の手法を市政推進の基本と考えている。弱者を優先するという信条で政治に関わってきた。今後もこの信条でいきたい。

二、会計上の収支は資本的には赤字だが、企業債元利償還金、定年勤奨退職金などを除く医療収支だけを見ると、毎年黒字で推移している。平成十七年度も一億八千万円の黒字が見込まれる。今後も病院の経営方針は、入るをはかり出を制するという方針でいく。

◆村山ゆかり議員への答弁

一、実態に合った組織として設置している。各部毎に総務部とヒアリングを実施し、検討している。グループ制を導入し三年が経過した。検証・検討していきたい。組織機構

◆菅原千鶴子議員への答弁

一、禁煙外来・下肢静脈瘤外来・乳腺甲状腺外来・小児科の脳波外来・心臓外来などを専門外来として開いている。今回の診療報酬の改定で二コチン依存症指導管理料という診療報酬上の料金設定がある。平成二十一年までに実施しようと思っている。予防医学というのは保険診療で認められていない。行政と一緒にやっていく分野だと認識している、今後話し合いながら、積極的に市立病院も関与していきたいと思う。

萌芽クラブ

村山ゆかり議員

- 一、留萌の未来を創造する機構改革について
- 二、ごみ処理先進地としての未来について

の長所・課題を掌握し組織作りを検討したい。

二、ごみの搬入量・手数料の受益者負担はともに減少している。設備維持には、平成二十二年年度までに三億四千万円の費用が必要。最終処理処分場の使用年数は約三年程度埋め立てごみの再活用と減量化を進め、現在の埋め立て処分場の延命化を図る。バイオマスタウン構想については、今年度からMMSを中心とした新しいごみ処理システムの構築を目指したい。



最終埋め立て処分場の延命化を

市民連合

菅原千鶴子議員

- 一、市立病院について
- 二、介護保険制度改正と留萌市の対応について

一、病院事業会計の決算で純損失九億八千万円ほどとなる



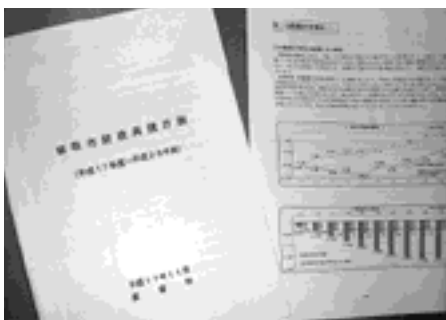
介護予防普及啓発事業の推進を

二、すべての高齢者を対象にした一般高齢者施策として、介護予防に関する基本的な知識を普及、啓発するための介護予防普及啓発事業なども実施していく予定である。

留萌公明党
村上 均議員
一、行財政改革について
二、市立病院の現状と課題について

一、長沼市政の最後の仕事として十一年の財政再建計画を作成した。この計画には公債費の平準化で新たな市民負担五億以上を発生させる内容に私達（公明党）は反対をした。高橋市政は長沼市政で作られた財政再建計画について、そのまま継承されるのか、見直す考えはあるのか、また市長の目指す「小さな市役所」の

イメージを聞きたい。
二、循環器内科の固定医三名が引き揚げられる。現在、形成外科・産婦人科・神経科・放射線科は出張医体制で医師の確保が難しい現状だ。診察を受ける度に違う医師では患者の不安は増すばかり、そこで市長の道議十五年のキャリアによる人脈やネットワークを活かした良い方策があれば聞きたい。



財政再建計画の見直しは

◆村上 均議員への答弁

一、歳入面での今後の動向を推測し、必要に応じて財政再建計画を見直したい。最小限の経営資源による効率的な行政運営手法で、総合的・複合的な市政運営の基本的な仕組みとしての都市経営システムの確立を図る。
二、大学医局と北海道保健福

社部へ要請をしたいと考えている。本年は五名の研修医が確保できた。今後は後期研修プログラムも整備し、研修医から固定医として定着できるシステムとしたい。道議会議員のときに医療関係議員連盟会長であった。これまでの経験で得たものを病院長との連携を深め、大学医局及び関係機関へ積極的に働きかけていきたいと考えている。

無党派(共産党)
坂本 茂議員
一、介護保険料・利用料減免措置継続について
二、新たな農政・品目横断的価格安定対策について

一、留萌市は、「所得が低くても安心して介護保険に加入し、気兼ねなく介護制度を利用出来るように」ということで、市独自の施策「保険料と利用料の減免措置」を設けており、平成十六年度は四十七件の利用があり大変喜ばれている。ところが市は、財政再建のためこの措置を廃止すると言っているが是非継続を。
二、国が、平成十九年度から農政の柱として導入する「品目横断的価格安定対策」は十ヘクタール以下の農家を国の農業施策の対策から除外するという大変な内容。留萌の農



産・学・官連帯で新たな農業振興策を

家に及ぼす影響と対策はどうなっているか。産・学・官連携で新たな農業振興策を。

◆坂本 茂議員への答弁

一、留萌市は、全国に先駆けて低所得者の介護保険料・利用料の減免を実施して来たが留萌市独自のサービスであるため、財政再建計画で「廃止」を提示している。
継続すべきかどうか、長沼市長の英断、また質問の趣旨、思いを重く受けとめ、次回の議会までに決断したい。
二、この制度が導入されると本市水田七九一ヘクタールのうち二五一ヘクタール、助成額四千万円が打ち切りとなり影響は甚大である。JA（農協）市・農業委員会等が協力し検討委員会を立ちあげ対策を開始した。農業者の意見を

盛り込み、道に対しても要望する。産・学・官の連携も検討していきたい。

市民の民権もどろろ
高橋 信郎議員
一、支庁再編計画について
二、広域事務連合について

一、道は現在の十四支庁を平成二十年には全道を六支庁に改編し八支庁を廃止させるという大変な問題、地域主権型社会の実現に資する」と云うだけでは管内の経済的打撃は回り知れない。特に農漁村、観光、福祉、そして物品や工事受注業者は道北支庁の指名業者に登録されるか疑問。私は反対である。市長は再編問題をどう捉えているか。
二、合併協議会は解散したが行政改革は必要だ。広域事務連合（連携も良）で管内の国保や介護保険、老人保健、福祉その他の事務統合を実施すべき。又行政組合議会選出議員要請事項に積極的に取り組むべき。

◆高橋信郎議員への答弁

一、構想されているのは、留萌上川、宗谷の三つの支庁を一つの支庁にするというもの。道州制や市町村合併を模索しているとき、中二階である道

の組織をどうするか拙速に進めるべきでない。支庁再編よりも今の支庁機能を強化すべきと考えるので、道との協議を重ねていきたい。
二、市町村助役による「留萌広域行政体制検討委員会」で検討。今年一月の留萌町村会臨時総会で留萌地域の広域連携研究会が設置され、広域行政の現状と課題、対象業務、組織のあり方、目標時期等について調査、研究、検討を決めている。実効性ある広域行政推進のため、近隣との連携を強めたい。



支庁再編計画は

第一回臨時議会

予算特別委

総務費

Q 広報紙配送委託料六十三万円は配送先を特定しての予算計上なのか。
A 今までの広報委員制度を廃止して、昨年より町内会と協議し今年度より町内会にお願いするように作業を進めている。

Q コミュニティFM広報広告料一九四万一千円の委託料の積算根拠を知りたい。
A 毎週月曜日から金曜日の午前と午後、各五分のお知らせ番組のほか週一回十分間の市政情報番組を持っている。番組の制作費や広告料と



Q 広報紙配送委託料六十三万円は配送先を特定しての予算計上なのか。
A 今までの広報委員制度を廃止して、昨年より町内会と協議し今年度より町内会にお願いするように作業を進めている。

言う形となるが、市の広報広聴事業扱いになる。

Q 防災諸費の防災訓練が昨年度と比較してかなりの減額となっているが避難訓練の実施を含めその内容を知りたい。
A 昨年は一昨年の消火訓練と比べ、市民主体の防災訓練を実施したので経費の削減が図られた。今年度も同じ形態の防災訓練を計画している。

Q 市の自主防災組織の設置及びその推進状況を知りたい。
A 現在、四十二町内会が防



今後も地域密着型の防災訓練で地域の絆を強めるような企画運営をしていきたい。
Q 財政の事情等で職員研修に要する経費が削減されているが大変な時期であれば

Q 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。
A 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。

こそ職員力が期待されるものである。現状を知りたい。

Q 自主研修については、自己研鑽、資質向上のため研究するという事で三十万円計上している。その他、全体的な政策形成の能力向上という事でブレゼン（提案・提言）研修を実施している。
Q 留萌市として、選挙の投票率を上げる為にどのような努力をしているのか。期日前投票所を増やす考えはないのか。
A 明るい選挙推進協議会を設置して、常に研修会を開催し投票率アップに努力している。今のところ、二重投票の防止問題を含め、経費的な面で難しいと考えている。
Q 総合開発期成会負担金が計上されているが支庁の再編や道州制について管内的に協議がされているのか。
A 国の三位一体改革や道州制特区の方向性が不明で、市町村には国や道の仕事などの程度来るのかといった実態が不明であり、問題点や議論が進まない状況にある。

Q 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。
A 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。

Q 平成十七年度からスタートしたファミリーサポートセンター事業は民間委託をしているが利用している子ども事故等の発生に対する賠償責任はどうなっている。
A 障害保険の保障内容は死亡保険金、後遺症障害保険金、それぞれ三百万円入院、通院保険金、手術保険金が担保されている。賠償責任は受託者側にあるが団体の育成を含め検討を重ねていく。

Q 生活保護費の扶助費総体が今年度も八億七千七百円計上されているがその要因をどのように押えているのか。
A 医療扶助費の増加は傷病世帯、障害等による稼働

Q 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。
A 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。

Q 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。
A 緊急通報システムや最新IT機器を活用した連絡体制の具体的な考え方を聞きたい。

困難および、高齢化や離婚件数の増加も考えられる。さらには社会的な経済状況の悪化も上げられる。

Q 地域福祉計画には生活保護世帯に対して自立を求める施策が盛り込まれていないが必要ではないか。

A 地域福祉計画推進の展望を図る上では当然、障害者や生活弱者世帯の自立を考へて十分注意しながら進めていく。

Q 郵政民営化で礼受郵便局は二〇〇七年からはどうなるのか。

A 郵便局は地元に着して維持の形で継続していきたい。



衛生費

Q 悪臭防止事業に要する経費として物質測定分析委託料が計上されているが悪臭

の苦情も含め、詳しく説明してほしい。

A 留萌市の場合水産加工場の苦情が多く、その他灯油もれ、肥料工場の悪臭苦情が入っている。塩見町のバイオマス処理センター(MMC)の悪臭分析に付いては前向きに検討する。

労働費

Q 労働諸費で負担金と交付金が計上されている。これは、雇用安定、開発に関する経費となっているが協議機関連の設置や雇用実態の調査はどうなっている。

A 従前は留萌市雇用対策協議会を設置していたが現在はしていない。過去に商工会議所が行ったが最近はない。関係機関とも協議を取り組んでいきたい。

農林水産費

Q 共同調査試験研究事業に要する経費の内訳、研究内容を知りたい。

A 研究所の水道、電気料や宿泊施設の維持補修費などを経費として計上した。ナマコ、ハタハタの養殖試験や前浜のいそ焼けや海藻類の繁殖状況を調査する。

Q トド被害防止対策事業として五十万円計上されて

いる。最近の被害状況や駆除状況を知りたい。

A 十五年度の被害額は四百四万八千円、十六年度は九五六七千円となっている。ハンターでの駆除回数は五回程度で強化網の導入は計画には入っていない。

商工費

Q 中小企業の特別融資の貸し付けが一億九千万円となっているが毎年、転貸しをしている気がする。利用状況および遅滞業者などの問題点はないのか。

A 平成十七年一月末の特別融資残高は一〇〇件で約五億六千万円、小口貸付は四件一四万五千円となっている。特別融資、小口融資制度についても損失補償は発生していない。

土木費

Q 冬期間の除雪業務は業者委託をしているが効率的な除雪対策については地元町内会や業者、役所などの話し合いがされているようだがその状況を知りたい。

A 十七年度は除雪が始まる前から六町内会と雪対策懇話会を実施している。さらには十二月の委託業者が決定した段階でも開催している。

火災防止などが警備内容である。



Q 現時点で、留萌教育委員会として、神居岩スキー場の今後のあり方をどのように考えているのかを聞きたい。

A 学習指導要項の中では、体育授業は自然とのかかわりの深いスキー、スケート等の指導は実態に応じて行うように規定されており継続が望ましいと考えている。

Q 学校評議員制度は学校運営について、保護者や地域住民の方々より意見を伺い開かれた学校づくりを目的としているが教育委員会として直接的に児童・生徒にかかわる事についての取り扱いをどうするのか。

A 具体的な事例を審議してその結果を踏まえて学校長が学校運営に生かしていく

よつになると思われる。市教委としても今後も評議員制度について意見の交換をしていく。

Q 学校図書購入費として九十七万円が計上されているが児童の読書欲を高める上でも大切な予算である。地方交付税で手当てをされている数字を知りたい。

A 平成十六年度における留萌市に対する基準財政需要額は三百四十四万三千円で交付税として算入されている。学校図書館に図書ボランティアが配置されているがその人数とボランティアの活動内容および、児童からの評価など知りたい。



A 留小、東光小、留中の三校で総数十九名が活動している。時間帯は、午前十時より午後二時までの四時間で各校で協議しながら調整している。活動内容は貸し出し

業務の他、語らい、話し合いをして大変喜ばれている声を聞いている。

前年度繰上利益金

Q 平成十七年度の決算見込みで四億三千万円の繰上充用金を算出しているがこの数字の判断を正しいとみているのか。

A 十二月の補正予算で、十七年度の歳入欠損補てん収入を四億三千七百六十七万七千円と計上しているため、今現在、十七年度の赤字を同額で計上した。

Q 財政再建計画が実のあるもの、効果あるものにするために決意を聞きたい。

A 何とかして危機を乗り越え、再建団体になる事は絶対避けなければならない。是非市民の理解を得て確実にこの難問を乗り越えていく。

国民健康保険費

Q 国保ヘルスアップ事業の委託内容を知りたい。

A 慢性化した疾病をなくするといった事業で生活習慣の改善にむけての支援プログラムを実施して体力向上を図る。

Q 後発医薬品の利用促進で国保会計の医療費軽減を図ることが求められる。そ

また、地域コミュニケーション除雪を推進している。二月二十日までで一四件の使用がある。

Q 雪捨て場清掃ごみ処理手数料として五万円が計上されている。この中身を知りたい。また、雪解け汚水などの悪影響を把握しているのか。

A 公共の雪捨て場として借りているオムロの沢の雪解け後のゴミ拾い手数料である。雪が多い年には、八線沢川の方に濁土が流出している現状は把握している。今後も監視をしていく。

教育費

Q 指定管理者制度の導入で公民館やスポーツセンターが管理委託されることになるが、メリットだけでなく弊害も考えられる。特別留意点を聞きたい。



A 利用者に対するサービスの効果や効率を向上させ

などの趣旨を記載した協定書の締結を公共性、公平性が保たれるように配慮する。

Q 今回の指定管理者制度については三年契約と理解しているがチエック機能、個人情報保護の指導、検証などをどのようにしていくのか。

A 協定書は三年間と一年間の二本立てになっている。委託料を支出している関係で監査などをしていく。協定書の中で個人情報保護の遵守、罰則規定などを盛り込んでいく。

Q 食育問題が話題になっている中で留萌市の十八年度の学校給食、教育現場での食育に関する取り組みを知りたい。

A 三角食べ、個食の問題については指導している。学校の要請に応じて管理栄養士や栄養士の派遣指導をしている。新任教員については給食に対する知識や指導の仕方について研修の機会を設け取り組んでいる。

Q 学校警備の委託料が計上されているが具体的な内容を聞きたい。

A 市内小学校三校、中学校二校の休日や祝祭日などの日中学校内警備を留萌市高齢者事業団に委託している。校舎内外の警備、不審者対策、

の方向性について聞きたい。

A 今までも、低価格のジェネリック薬品を使用するように医師会にお願いをしてきた。今後も被保険者や保険者である留萌市にも医療費、経費を下げるためのジェネリック薬品使用について積極的に医師会に働きかけていく。

下水道費

Q 平成十七年から二十年の三年間で二億円強の処理場の維持管理委託料が債務負担行為で計上されているが業務委託の内容を知りたい。



A 受水槽の清掃委託、水処理及び汚泥処理にかかる薬品代であり、薬品の内訳は汚泥用高分子凝集剤、次亜塩酸ソーダ、脱臭用の活性炭、水質分析の薬品等である。



が委託内容であるが留萌の業者が委託可能となる業務があるのか。

A 処理場の維持管理は大変高度な技術を要求される。留萌市が最終的に責任を負う事になるので、専任資格者が必要ではないかと考えている。

病院事業

Q 院長退職を目前にして現状の市立病院は極めて厳しい状況になっている。今後の見通しについて伺いたい。

A 十八年度は、一にも二にも医師確保である。企業償還がピークをむかえる。さらには、診療報酬の改定で最高のマイナス改定三・一六%となる。トリプルパンチを受ける十八年度となったが、留萌市だけではなく管内の基幹病院として機能していけると思う。将来を見据えた運営をしていく。

第一回定例会

平成十七年度

一般会計補正予算

歳入

歳出

【職員給与費】
特殊勤務手当が五十%減額した理由と見直しについて。

【勤務の回数】勤務の回数が減っているのでもこの様になった。見直しについては特勤の意義をふまえ、一般会計、医療機関も含めて積極的に図っていききたい。

【市民税】市民税が四千五百万円減収になっているのはなぜか。それとも滞納なのか。通信分野で従業員の減少、直営営業所の撤廃、公共事業の減少などが原因であると考えられる。

【特別交付税】特別交付税が四千六百万円減収になった原因はなにか。
【補正の段階】補正の段階で減額したが最終的に三月十四日の決定で三千二百万円ほど上回った。

【地方道の維持補修】地方道の維持補修については計画的に取り組みしていきたい。
【補正の段階】補正の段階で減額したが最終的に三月十四日の決定で三千二百万円ほど上回った。

【直接港湾整備事業】負担金について説明して欲しい。
【三泊地区の浚渫】三泊地区の浚渫のゼロ国債分である。



【管理者負担金】管理者負担金が拠出されているがその用途及び予算化を国はどのようにしているのか。

【施設】施設によって違うが総事業費によって負担している。開発の事業の使い方については把握していない。

平成十八年度

一般会計補正予算

総務費

【国民保護法】国民保護法に関する計画は各都道府県で平成十八年四月まで、市町村で平成十九年三月までと義務づけられている。なぜ拙速に三月議会に

【提出したいのか】提出したいのか伺いたい。
【国民保護法】国民保護法については一応の指示もある。北海道においても出来ており整合性を図る意味で提案をしました。

【国民保護法】国民保護法の目的、市民及び職員はどのように理解し認識しているのか。
【協議会】協議会を四月に立ち上げ計画書をつくりその中で作業を進めていく策定の段階でそれぞれ周知を図っていかなければならないと考えている。

【市民】市民に対して、有事の事態に対する不安と脅威を与えることが危惧される。教育の場でのようにあつかうのか。また具体的な中身はどのようなものか。
【策定】策定にあたり色々な情報を集め、教育の問題にも充分留意していく。市内でも認識を高めるため広報などで周知を図っていく。市町村の役割としては、警報の通知、避難所への誘導、物資の供給などである。

石塚議員辞職

二月二十四日付けで石塚正寛議員より辞職願が出され、本会議において許可された。

委員会活動

総務文教常任委員会
民生常任委員会
産業建設常任委員会

総務文教常任委員会

【平成十八年二月三日開催】

- 民間給与実態調査の取扱い
- 市税等完納強調月間目標達成状況
- 留萌市公の施設に係わる指定管理者の指定手続き等に関する条例の改正
- 支庁制度改革の見直し
- 平成十七年度事務事業評価結果概要
- 第四次総合計画の推進状況

（総務部）

- 子供の安全確保
- 学校施設におけるアスベスト除去工事
- 社会教育施設の指定管理者の指定

【三月八日開催】

（総務部）

- 国民保護法における市町村の役割
- 企画財政部
- 平成十七年度補正予算・平成十八年度補正予算

民生常任委員会

【平成十七年十二月十一日開催】

- 市立病院の医師確保に関する実行運動
- 生活福祉部
- JR留萌線・東幌糠乗降場の廃止
- 八千代庭に係る経過と対応
- 付託・平成十八年度老人クラブ補助金に係わる陳情
- 【平成十八年一月二十六日開催】
- 市立病院
- 平成十七年度十二月末の患者数及び経営状況
- 道立看護通信制教育施設
- 生活福祉部
- 平成十八年度予算案（一般会計・国保会計・老人会計）
- 平成十七年度介護保険事業特別会計補正予算案
- ごみ収集体制の見直し
- 保育料の改定について
- 付託・平成十八年度老人クラブ補助金に係わる陳情
- 【二月十四日開催】
- 市立病院

産業建設常任委員会

【平成十八年二月九日開催】

- 平成十八年度診療体制及び事業会計予算
- 自動精算機の設置
- 生活福祉部
- 障害者自立支援法に伴う市町村審査会共同設置
- 留萌市コミュニティセンター等指定管理者指定
- 子育てサポートネット
- 三期介護保険料
- 付託・平成十八年度老人クラブ補助金に係わる陳情
- 【二月一日・九日開催】
- 生活福祉部
- 留萌市環境基本計画（素案）
- 留萌市重度心身障害者及びひとり親家族等医療費助成に関する条例の一部改正
- 付託・平成十八年度老人クラブ補助金に係わる陳情
- 【平成十八年二月九日開催】
- 経済交流部
- 平成十八年度主要事業
- 留萌管内米穀広域出荷施設の建設
- 都市環境部
- 平成十八年度主要事業
- 公園条例の改正、有料公園使用等
- 市営住宅管理条例の改正、公営住宅法施行令の改正等
- 【三月十三日開催】
- 経済交流部

傍聴席

古川 義信

三月二十八日初めの傍聴席に張りつて九時半頃に議場に到着し、係の人に早過ぎますと言われ出直すことにした。定刻の十時、軽く一礼して入場する議員とそのまじりに入場する議員が半々位なのにまず驚き、議事進行中の私語の多さ、途中で出入りする議員も多かったし、一人目の質疑が終わらないうちに、二人来ていた新聞記者が前後して退席してしまつたことにも驚いた。

全体的には質問の時間が短く、納得する答弁を引き出せたのが疑問だった。重要な件案の審議なのだから、もっと時間をかけて充分な論議が必要でないかという気がした。今後も機会があれば傍聴したい。

会派構成

（平成十八年四月一日現在）

市民連合	野崎 良夫	坂本 守正	菅原 千鶴子	市民・民主ネットワーク	高橋 信郎	工藤 葵	留萌公明党	天谷 孝行	村上 均	無党派	村松 均	松本 均	村上 均	均司 子次	衆亮 順	千鶴子 茂
萌政会	中村 才蔵	樋口 隆	近藤 明美	原田 昌男	江田 順次	江田 亮子	原田 文三	道重 幸	村山 ゆかり	松本 衆司	松本 衆司	松本 衆司	松本 衆司	松本 衆司	松本 衆司	松本 衆司
芽芽クラブ	原田 文三	江田 亮子	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次	江田 順次

議会広報特別委員会

委員長	村上 均
副委員長	松本 均
委員	松本 均
委員	松本 均
委員	松本 均
委員	松本 均

編集後記

本来であれば3ヶ月に一度の発行であるべき議会報ですが、今号が本年初めてのお届けとなりました。第1回定例会が3月末の開催だったために、編集日程・締切日の関係での順延が要因だったのですが、時期外れの感は否めません。

これまでの間に、議会にも変化がありました。2月の臨時会の前に、市議の補選があり、道議選出馬のため議員辞職があり、3月には首長が変わり、新市政がスタートしました。議会広報委員会も新布陣での発行でしたが今回の出来映えはいかがだったでしょうか？（松本 記）